

一挙3人特別賞受賞の快挙!



第67回兵庫県幼・小・中造形教育展 兵庫県教育委員会賞 田邊晶大さん(写真中)
 神戸新聞社賞 有吉希生さん(同左)
 第88回兵庫県小・中・高校絵画展 学年優秀作品賞 山本風紗さん(同右)

児童生徒を対象とした美術展のうち、長い歴史と伝統を持つ県幼・小・中造形教育展と県小・中・高校絵画展。これらふたつの展覧会に絵画を出品した米田小6年生から、田邊晶大さん、有吉希生さん、山本風紗さんの3人が特別賞を受賞しました。作品は、田邊さんと山本さんが秋の通学路の風景を、有吉さんが水泳の授業の様子を描いたものです。

「普段、特別に絵の練習はしていない」と話す3人に受賞の要因を聞くと、異口同音に「先生の指導があったからです」と笑いながら話してくれました。照れる先生と笑顔の3人から、日々築かれた素敵な関係が賞に結びついたことがわかりました。

学んだ手話 舞台上披露 ～かとう手話フェスタ2015～

昨年4月に施行した手話言語条例の制定記念と、条例施行とともに展開した様々な手話講座での学びを披露する場の提供のため、2月11日、かとう手話フェスタ2015を開催しました。手話劇や手話歌、手話漫才など、出演した手話講座受講者や手話サークル参加者は、それぞれの方法で研鑽の成果を披露。約360人が集まった会場は、熱気と笑顔に包まれました。

手話入門講座参加者によるKSN20(Kato Syuwa Nyuumon)の一員として、手話歌を披露した東条中2年生の小池明里さんは「手話は難しいけど、勉強するほど楽しくなるので、多くの人に知ってほしいです」、同じく東条中2年生の石田江里奈さんは「発表は緊張したけど、練習の成果が出せました。これからも手話を続けたいです」と、それぞれ充実した様子で話されていました。



ありがとうございます

■加東ライオンズクラブのみなさん



加東市民病院に、昇降式テーブルのほか、ターゲットゲーム、輪投げなど3点をいただきました。

■Hookのみなさん



バレンタインデーに合わせ、伝の助あての激励メッセージ入りフォトスタンドをいただきました。

■兵庫教育大学大学院 平成27年度修了生のみなさん



市内の児童館・公立保育所に、絵本5万円相当をいただきました。

ポイント&KO関西選抜空手道選手権大会



小学3年生男子の部
 優勝 百田宗一郎(拳武会館)
 小学4年生男子の部
 準優勝 沼田清虎(拳武会館)
 小学4年生女子の部
 準優勝 西山すみれ(拳武会館)
 小学5年生女子の部
 第4位 藤崎珠友(拳武会館)
 ※全日本大会出場

ポイント&KO中部選抜空手道選手権大会



小学6年生男子の部
 第3位 藤井勇心(拳武会館)
 ※全日本大会出場

第10回加東市公募美術展

【日本画部門】最優秀賞・内海ひさや(姫路市) 優秀賞・奥島純子(加西市)、藤井恭子(神戸市北区)、青木美智子(加西市)、伝の助賞・塩田時治郎(上三草)

【洋画部門】最優秀賞・小椋和明(朝来市)、優秀賞・大野美智子(下滝野)、石井明子(小野市)、アンドレイヴェルホフツェフ(姫路市)、奨励賞・遠藤兼一(山国) 伝の助賞・内藤真帆(大門)

【彫刻・工芸部門】最優秀賞・黒田雅幸(姫路市)、優秀賞・岡井光代(西脇市)、井上滋木(高砂市)、河野好文(西脇市)、伝の助賞・井上廣勝(上中)

【書部門】最優秀賞・竹内千立(加西市)、優秀賞・西川純子(西脇市)、永木小夜(三田市)、岸本千歳(永福)、奨励賞・宮崎山月(東美)、大久保葵香(高岡) 伝の助賞・吉田美智子(厚利)

【写真部門】最優秀賞・篠原章男(西脇市)、優秀賞・藤本清(松尾)、五百蔵二郎(小野市)、納庄喜一(三木市)、奨励賞・田中資敏(下滝野) 伝の助賞・西山一雄(上鴨川)



2月7日から14日にかけて、滝野図書館で加東市公募美術展を開催しました。日本画、洋画、彫刻・工芸、書、写真の5部門に、計454点もの作品が寄せられ、そのうち入賞・入選した168点と無鑑査出品3点を展示しました。各部門の受賞者は左のみなさんです。

(奨励賞は市内在住の方のみ・敬称略)

お米を通じて地域交流



2月4日、米田小学校で、児童とうれしの生涯大学生が巻き寿司づくりと食事会で交流しました。巻き寿司づくりに使ったお米は、児童と生涯大学生が、昨年6月から、田植えや稲刈りに携わってきたものです。児童代表19人と生涯大学社支部生18人は、協力し合って巻き寿司約100本を巻きあげました。

うれしの生涯大学社支部長の上月登さん(下三草)は「子どもさんとの活動は、孫が増えたようで、気持ちが若返りました。これからも交流を続けさせてほしいですね」と笑顔で話されていました。

社高校Seica 2年目に突入!



社高校生活科学科の生徒が、やしろショッピングパークBio2階の空き店舗で月1回オープンしている洋菓子店『Seica』。昨年12月で1周年を迎え、1月には店を支えてきた3年生が引退。この2月から、2年生を中心とした新たな布陣で店舗経営に臨んでいます。

店長を引き継いだ同校2年生の門脇奈都帆さんは「商品の質を上げながら、種類も増やしたいです。売り上げも昨年を上回るよう、がんばります」と、熱い意気込みを語っていました。

ネパールへ贈りつづける希望



1月26日から29日にかけて、社小学校で恒例のネパール募金が集められました。ネパール募金は、児童のお年玉の一部を、学習環境が恵まれていないネパールの学校建設費などに役立ててもらおうという活動で、これまでに28年もの実績があります。昨年12月には、活動が評価され、日本フィランソロピー協会の『まちかどのフィランソロピスト賞』で、最優秀の文部科学大臣賞にも選ばれました。

募金を担当しているボランティア委員会の館山大翔委員長は「今はまだ地震で困っている子どもも多いだろうから、少しでも多く集め、助けになりたいです」と決意に満ちた表情でした。(募金は171,908円集まり、NPOを通じてネパールへ届けられました)



身近な話題など、お気軽にご連絡ください。
 広報係がカメラを持って伺います。

☎43-0387